

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC).
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/publications/suicnewsletter_vol.41.pdf

◆◆◆ Vol. 41 2013. 3. 1 ◆◆◆

◆◆◆
信州大学国際交流センター ニュースレター
Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

◆◆◆
発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

〔 今号の目次 〕

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * 信大NOW No. 79
- * スタッフ近況報告 山本 もと子 先生（国際交流センター非常勤講師）
- * 生活ちょっとコラム

■ □
□ ごあいさつ

みなさんこんにちは！お元気ですか？今年度修了して、母国に帰ったばかりのみなさんには初めてのニュースレターになりますね。久しぶりのふるさととは、いかがですか？

3月に入ったとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。今年の信州はとにかく寒い！雪が多い！！今年は、信州の冬に慣れていないアパート暮らしの学生が、水道管を凍らせて破裂させてしまった、という事故が多発しているそうです。水道管が凍るなんて、暖かい地域では考えられないでしょうね。

ほんとうに春が待ち遠しく感じる、今日このごろです。

■ □
□ 最近の出来事

★2012年度秋期「国際交流センター修了発表会」が開催されました

2013年2月5日～6日に、全学教育機構を会場に、2012年度秋期「国際交流センター修了発表会」が開催されました。

この発表会は、信州大学で半年または1年の留学を終えて帰国する交換留学生、1年の日本語・日本文化研修を終えて帰国する日研生、または半年の日本語研修コースを終えて信州大学の大学院に入る学生が、学んだ日本語を用いて、自らが関心を持つテーマや故郷、専門などについて発表するものです。

今回はアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ、アジア各国から24名の発表があり、信州大学の学生や教職員をはじめ一般の松本市民など大勢の方が真剣に耳を傾けていました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/2012-44.html>

★留学生がスキーを楽しみました

2月9日（土）、Mt. 乗鞍スノースマイルゲレンデにて、松本留学生応援ファミリーの会主催による留学生のためのスキーツアーが行われました。

当日は素晴らしいお天気の中、20名あまりの留学生がスキーやスノーボードを楽しみました。スキーが初めてという参加者も多かったのですが、上手に滑れるようになった人も多くて、成果の大きなスキーツアーとなりました。

スキーのあとには、ファミリーの会による「卒業・修了お別れパーティ」が行われ、この3月で松本を去る留学生には記念品が贈られました。

写真はこちら

↓ ↓ ↓

★『先端加速器科学技術推進シンポジウム2013in信州』を開催

平成25年1月26日(土)、ビッグバンの探求から最先端医療まで幅広く応用される先端加速器およびその研究をより一般に向け発信するため、松本市でシンポジウムを開催しました。『先端加速器の世界 いのちを守る、宇宙を創る』と題し、山沢清人学長のあいさつ後、信州大学理学部物理学科竹下徹教授、放射線医学総合研究所フェロー辻井博彦氏、高エネルギー加速器研究機構機構長鈴木厚人氏の3名の研究者が講演。約140名が熱心に耳を傾けました。また、講演後には3名がそろって壇上に上がり聴講者との質疑応答を行い、盛況のうちにシンポジウムは閉幕となりました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2013/02/2013in.html>

■ □

□ 信大NOW No. 79 のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」最新号の目次を紹介します。

<No. 79>

○超小型人工衛星ShindaiSat
「ぎんれい」に愛称決定

○平成24年度文部科学省 大学間連携協同教育推進事業
医学系・繊維系 2つの大学間連携教育キックオフ

○CITI JAPANプロジェクト
研究者育成のための行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開

○対談 今求められる研究者の倫理観
CITI JAPANプロジェクト立ち上げの経緯や熱意を探る

○平成24年度文部科学省「大学間連携協同教育推進事業」採択
繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成キックオフ
フォーラム開催

○信州大学農学部 浙江省農業科学院・国際交流協定締結
第2回記念講演会開催
信州大学と中国浙江省農業科学院
動物バイオテクノロジーを通じて連携へ

○第2回信州大学大学院医学系研究科
疾患予防医科学系専攻キックオフセミナー 於：日本化学未来館
誰もが関わる近未来の医療のヒントを紹介！

○学生たちがつくる、子供たちの遊びの祭典！
信大YOU遊未来 第11回YOU遊フェスティバル
2012. 11. 25教育学部キャンパス

○平成24年度（第2回）信州地域連携フォーラム 12月4日
バイオマスタウン構想から持続可能社会実現へ

○TOPICS
「大災害発生～CATVの情報発信と課題」フォーラムを開催
農学部栄村震災復興支援隊「農援隊」と福幸そば
平成24年度信州大学放送公開講座「知の森」
信州「知の森」が拓く医療の近未来～健康と長寿の秘訣がここに～

○信大キャンパスの「樹」シリーズ⑩
アカガシ 上田キャンパス

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開されていますので、ぜひご覧ください。↓ ↓ ↓



□ スタッフ近況報告 山本 もと子 先生（国際交流センター非常勤講師）

松本は今日も雪が降っていて寒いですが、皆さん、お元気ですか。
私は寒いのが苦手なので、早く春が来ないかなあと思いながら過ごしています。
でも、「寒い、寒い」と言って、家の中でじーっとしていても暖かくならない
ので、暖かく過ごす方法を考えてみました。

まずは、当たり前ですが、「体を動かして温める」。
せっかく雪国に住んでいるんだから冬のスポーツを楽しもうと思い、先日スキー
に行ってきた！真っ白な雪景色を見ながら滑るのは最高でしたよ。でも、
毎日スキーに行くわけにはいかないの、もっと簡単に温くなる方法を考え
ました。それは、真剣に家事をすることです。屋外では雪かき、屋内では雑巾
がけ（ぞうきんで床をふくこと）や窓ふきを一生懸命すると、体がぽかぽかし
てきますよ。

次に、「温かいものを食べて、体の中から温める」。
冬の間、我が家ではお鍋が大活躍！最近、気に入っているのは「トマト鍋」です。
キャベツ、にんじん、じゃがいも、きのこ、鶏肉、魚などをトマトソースで煮込
みます。お鍋の中身をだいたい食べ終わったら、残ったスープの中にご飯を入れ
て、ピザ用チーズをのせて食べます。とってもおいしくて体が温まるので、ぜひ
作ってみてください。

最後に、「本を読んで、心を温める」。
私は読書が趣味なので、時間さえあれば、本を読んでいます。特にハッピーエン
ドのお話は明るい気持ちになれるので大好きです。
皆さんは日本語の絵本を読んだことがありますか。絵本は子どもだけではなく、
大人が読んでも楽しいですよ。私のおすすめは『としょかんライオン』（ミシェ
ル・ヌードセン作）です。絵もきれいだし、ストーリーもいいので、読んだ後に、
温かい気持ちになれますよ。

皆さんはどうやって寒い冬を過ごしていますか。ぜひ自分に合った「冬の楽
しい過ごし方」を考えてみてください。

松本に住んでいる皆さんは、まだまだ寒い日が続きますので、風邪を引かない
ように気をつけてくださいね！



□ 生活ちょっとコラム ～信州人はスキー好き？～

留学生も、山本先生もスキーをしたようですね！実は編集人の私も、最近
久しぶりに、そう、ものすごく久しぶりにスキーをしました！自転車で通勤
する以外は運動らしい運動もない今日このごろ。転んだら最後、骨折する
かも・・・とヒヤヒヤしながら、なんとか初中級コースを滑り降りてきまし
た。

私の学生時代には一大スキーブームがありました。東京や大阪から、何百
台という夜行バスでスキーヤーが押し寄せて、長野県のスキー場もそれは
それは賑やかでした。リフトに乗るのにも、列に並んで長い時間待たなければ
いけなかったし、お屋にカフェテリアの席を取るのも一苦労でした。また、
そのころのスキーウェアといったら蛍光カラーの、まさにバブル時代そのもの
のような派手なものばかりでした。（ちなみに私の夫はいまだに当時のウェア
を着ています。一緒に滑るのはちょっと恥ずかしいです・・・。）

今はそれほどの混雑はなく、家族連れでも落ち着いてスキーを楽しむこと
ができました。また、私が行ったのは白馬のスキー場でしたが、外国人がとて
も多いことにも驚きました。

県外の人に、私が長野県出身だと話すと、たいていの人は「じゃあ、スキー
うまいんでしょ？」と聞いてきます。長野県の人達はみんな子供のころから
スキーをやっている、というイメージがあるみたいです。でも長野県人だから
といって、だれでもスキーが上手なわけではありません。私が初めて本格的に
スキーを習ったのは高校生の時ですし、今でも上級者とはとても言えません。

そのかわり、徹底的にやらされたのがスケートでした。それもスピード
スケート。学校のグラウンドにスケートリンクを作って、「朝、登校したら
リンク10周」のようなノルマがあって、冬の間は毎日スケートをやって
いました。いまは地球温暖化の影響か、長野県でも天然のスケートリンクが

でも、そういえばスケートも長いことやっていません。体が硬くなってしまいう前に、もう一度スケート靴をはいてみようかな？ちゃんと滑れるか不安ですが・・・。

[illegible]

◆配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：西牧
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel: 0263-37-3167 / Fax: 0263-37-2181
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

◆連絡先 : iad@shinshu-u. ac. jp

- *各種お問い合わせ
- *配信停止希望
- *メールアドレスの変更のご連絡
- *情報掲載のご希望
- *ご意見、ご感想 など